

- 問1 1932年に海軍の青年将校らが首相官邸を襲撃し、当時の内閣総理大臣であった犬養毅を殺害した事件を何といいますか。 (2020年 徳島公立入試 類似)
1. 五・一五事件
  2. 二・二六事件
  3. 満州事変
  4. 血盟団事件
- 問2 7世紀の東アジアの情勢について、朝鮮半島の北部に位置する国家が唐から大規模な軍事攻撃を受けたことで、日本（倭）を含む周辺諸国の国際的な緊張が高まった状況を説明した文章があります。この文章の中で、唐の攻撃の対象となり、東アジアの緊張の一因となった国家として正しいものを選びなさい。 (2020年 徳島公立入試 類似)
1. 高句麗
  2. 新羅
  3. 百済
  4. 加耶（任那）
- 問3 稲作の技術が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起き、周辺のムラを従えて「クニ」をつくる者が現れた弥生時代の社会において、青銅器はどのような役割を担ったと考えられますか。 (2019年 徳島公立入試 類似)
1. 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた
  2. 大規模な水田開発を行う際、土を掘り起こすための主要な農具として普及した
  3. 呪術的な力を持つと信じられ、女性の姿をかたどった土偶とともに魔除けとして埋められた
  4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出される主要な品目となった
- 問4 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 徳島公立入試 類似)
1. 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため
  2. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため
  3. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため
  4. 豊かな自然環境を求めて、老人人口の転入が急増しているため
- 問5 江戸時代、天明の飢饉などの影響で米の価格が急騰した際、江戸や大坂などの都市部で生活に苦しんだ民衆が行った行動として正しいものはどれですか。 (2018年 徳島公立入試 類似)
1. 米を買い占めた商人の家屋や土蔵を破壊する「打ちこわし」
  2. 重い年貢の軽減を求めて村々が団結して役所に押し寄せる「百姓一揆」
  3. 借金の帳消しを求めて幕府に徳政令の発布を迫る「徳政一揆」
  4. お札が降ってきたことをきっかけに、民衆が仮装して踊り歩く「ええじゃないか」
- 問6 近年、生産者から消費者に商品が届くまでの「流通」の過程において、卸売業者などを介する段階を減らす動きが見られます。このように、中間コストを削減するために流通の構造を変える取り組みを何と言いますか。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 流通経路の簡略化
  2. 大規模小売店舗の拡充
  3. 独占禁止法の強化
  4. 販売価格の固定化
- 問7 夕方の西の空に「よいの明星」として金星が見えるとき、日没の瞬間から金星が地平線の下に沈むまでの時間は、日を追うごとに変化します。この時間が変化する理由として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 徳島公立入試 類似)
1. 金星が公転しており、地球から見た太陽と金星のなす角度が変化するため
  2. 地球が公転しており、金星が地平線に対して垂直に沈むようになるため
  3. 金星が自転しており、太陽の光を反射して光る部分の形が変化するため
  4. 地球の自転の速さが、季節によって周期的に変化しているため
- 問8 戦後の日本的経営において「終身雇用」と密接に関連し、勤続年数や年齢が上がるにつれて賃金や役職が上昇していく仕組みを何というか。 (2023年 徳島公立入試 類似)
1. 年功序列賃金
  2. 能力主義
  3. 成果主義
  4. 最低賃金制度
- 問9 小腸の壁にある絨毛の毛細血管から吸収されたブドウ糖は、その後、特定の器官へと運ばれて別の物質に合成され、貯蔵されます。この「運ばれる先の器官」と「合成される物質」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 徳島公立入試 類似)
1. 肝臓へ運ばれ、グリコーゲンに合成される
  2. 肝臓へ運ばれ、モノグリセリドに合成される
  3. 腎臓へ運ばれ、グリコーゲンに合成される
  4. 肺へ運ばれ、脂肪に合成される
- 問10 北半球において、夏至の時期に太陽の南中高度が一年で最も高くなり、昼の長さが最も長くなる理由を、地球の傾きと公転の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島公立入試 類似)
1. 地軸の北極側が太陽の方向へ傾く位置に地球が来ることで、北半球側に太陽の光がより深い角度で当たるようになるため。
  2. 地球の地軸が公転中に徐々に傾きを増していくことで、夏至の瞬間に太陽を最も正面からとらえるようになるため。
  3. 地軸が太陽と反対側に傾くことで、太陽と北半球の距離が最も近くなり、太陽の動きがゆっくり見えるようになるため。
  4. 地球が公転によって太陽に最も近づく時期であり、太陽の光が当たる面積が北半球全体で最大になるため。
- 問11 1931年の満州事変の発生を受け、中国側の訴えによって国際連盟が事実調査のために派遣した組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 徳島公立入試 類似)
1. リットン調査団
  2. 国際連合平和維持軍
  3. GHQ経済調査団
  4. 南満州鉄道調査部
- 問12 鏡に全身を映すことができる最小の長さの鏡を壁に固定しました。この鏡の前に立っている人が、鏡から遠ざかるように後ろに移動した場合、鏡に映る自分の姿の範囲はどう変化しますか。 (2018年 徳島公立入試 類似)
1. 遠ざかるほど鏡に映る像が小さくなるため、全身よりも広い範囲が映るようになる。
  2. 遠ざかるほど鏡への入射角が小さくなるため、頭の前や足の先が映らなくなる。
  3. 遠ざかるほど光が目には届く角度は変化するが、必要な鏡の範囲の比率は変わらないため、全身が映るまま変化しない。
  4. 鏡からの距離が2倍になると、全身を映すために必要な鏡の長さも2倍になる。
- 問13 日本の都市化の過程で建設された「ニュータウン」の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島公立入試 類似)
1. 都心部の地価高騰により、居住機能を郊外の丘陵地などへ計画的に分散させる目的で建設された。
  2. 農村部での過疎化を食い止めるため、伝統的な街並みを維持しながら観光客を呼び込む目的で開発された。
  3. 都心の再開発を進めるため、古くなったビルを取り壊して企業のオフィスや官公庁を集中させた地区である。
  4. 工場の海外移転によって生じた広大な跡地を利用して、大規模な物流拠点や工業団地として整備された。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 五・一五事件	1932（昭和7）年に発生したこの事件は、海軍の青年将校らが中心となって起こしました。当時の犬養毅首相が殺害されたことで、護憲運動以降続いていた「憲政の常道」と呼ばれる政党内閣の慣習が途絶えることとなりました。これ以降、軍部が政治への発言力を強め、日本は戦争への道を歩み始めることとなります。
問2	答え 1 高句麗	7世紀、朝鮮半島の北部を支配していた高句麗は、中国を統一した隋やそれに続く唐と激しく対立し、度重なる攻撃を受けました。この強力な唐の動きは朝鮮半島全体や日本にも大きな危機感を与え、日本の国内政治が中央集権化へと向かう国際的な背景となりました。新羅は後に唐と結んで、高句麗や百済を滅ぼすこととなります。
問3	答え 1 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた	稲作の伝来により生産力が高まると、土地や水をめぐると対立から社会に階級が生じ、各地に「クニ」が成立しました。地域の指導者は、集団の結束を固めるための祭祀（まつり）を主導し、その際に大陸由来の希少な技術で作られた青銅器を権威の象徴として利用しました。土偶は縄文時代の特徴的な遺物であり、青銅器は農具としては脆いため実用的ではありませんでした。
問4	答え 1 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため	東京都には中央官庁や企業の公署、大学などの教育機関が密集しています。このため、昼間には仕事や学びのために埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺地域から生産年齢人口を中心とした膨大な人数が移動してきます。その結果、昼間人口が夜間人口を大きく上回る「昼夜間人口比率の高い都市」としての特性が生まれます。
問5	答え 1 米を買い占めた商人の家屋や土蔵を破壊する「打ちこわし」	江戸時代後半、冷害や浅間山の噴火による「天明の飢饉」などで米不足が深刻化しました。都市の商人が利益を得るために米を買い占めて売り惜しみをしたことで米価がさらに跳ね上がり、これに怒った都市の民衆が商人の家屋などを破壊しました。農村で年貢の減免などを求める「百姓一揆」と区別して理解することが重要です。
問6	答え 1 流通経路の簡略化	生産者と小売業者の間に介入する卸売業者などの数を減らすことで、仲介手数料や輸送に伴う中間的な費用を抑えることが可能になります。この取り組みによって、商品の販売価格を引き下げることができ、消費者への還元や企業の競争力強化につながります。
問7	答え 1 金星が公転しており、地球から見た太陽と金星のなす角度が変化するため	金星は地球の内側を公転しているため、地球から見た太陽との角度（離角）が常に変化しています。地球は自転によって1時間に約15度回転するため、日没の瞬間に太陽と金星の間の角度が大きければ大きいほど、金星が地平線に達するまでに時間がかかることとなります。したがって、金星の公転にともなう位置の変化が、没するまでの時間の長さを決める要因となります。
問8	答え 1 年功序列賃金	終身雇用制度のもとでは、同じ企業に長く勤めることが前提となっていたため、勤続年数に応じた給与体系である年功序列賃金がセットで運用されてきました。これにより労働者は将来の生活設計が立てやすくなる一方、近年では若手社員の意欲低下や、企業側の人件費負担増といった課題も指摘されています。
問9	答え 1 肝臓へ運ばれ、グリコーゲンに合成される	小腸の絨毛で吸収されたブドウ糖やアミノ酸は、毛細血管に入り、肝門脈を通過して肝臓へと運ばれます。肝臓に到達したブドウ糖は、エネルギーとして利用されるほか、グリコーゲンという物質に合成されて一時的に蓄えられます。なお、リンパ管に入るのは脂肪が分解された後の脂肪酸やモノグリセリドです。
問10	答え 1 地軸の北極側が太陽の方向へ傾く位置に地球が来ることで、北半球側に太陽の光がより深い角度で当たるようになるため。	地球は地軸を一定の方向に傾けたまま公転しているため、公転軌道上の位置によって、太陽の方へ傾く半球が変化します。夏至の時期には地軸の北極側が太陽の方へ傾くため、北半球では太陽が高い位置を通るようになり、南中高度が上がると同時に、地平線より上に太陽が出ている時間が長くなります。
問11	答え 1 リットン調査団	満州事変における日本の軍事行動を調査するため、イギリスのリットンを団長とする5か国代表からなる調査団が派遣されました。当時、日本は国際社会の平和維持を目的とする国際連盟に加盟していましたが、中国の提訴によりこの調査が行われることとなりました。国際連合は第二次世界大戦後に設立された組織であるため、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 遠ざかるほど光が目へ届く角度は変化するが、必要な鏡の範囲の比率は変わらないため、全身が映るまま変化しない。	鏡からの距離が変わっても、自分の体、鏡の反射点、そして目に届く光の道筋が作る三角形の相似関係は保たれます。鏡に映る像（虚像）は、鏡を対称の軸として自分と反対側の同じ距離の位置に現れます。自分と鏡の距離、および鏡と像の距離が同じ比率で変化するため、全身を映すために必要な鏡の領域は、常に身長を半分のまま変化しません。これは多くの受験生が間違えやすいポイントです。
問13	答え 1 都心部の地価高騰により、居住機能を郊外の丘陵地などへ計画的に分散させる目的で建設された。	大都市中心部では人口が集中しすぎたことで地価が上昇し、住環境が悪化しました。そのため、比較的安価で広い土地が確保できる郊外が選ばれ、大規模な「住宅団地」が作られました。これにより、昼間は都心で働き、夜間は郊外の住宅に帰るといった生活スタイルが一般化し、ドーナツ化現象を促進する一因となりました。